

平成30年度における防衛省環境配慮の方針の点検結果について

1 はじめに

防衛省は、従前から政府の一員として、環境関連法令を遵守するとともに、環境保全の徹底や環境負荷の低減に努めてきたところであるが、更なる環境への取組の推進を図るため、平成15年3月に「防衛省環境配慮の方針」を策定し、毎年度、その取組状況を点検しているところである。今般、令和元年度における取組状況についての点検を行ったことから、その結果を公表するものである。

2 平成30年度実績に関する全般的評価

各機関等において、同方針に基づく具体的な取組を継続的に実施しており、環境に配慮した取組が着実に実施されているものと評価できる。

3 各取組の状況

(1) 環境負荷の低減

ア 平成30年度の評価

地球環境保全、生物多様性保全、循環型社会構築、大気環境保全、水環境保全、土壌環境保全、化学物質対策及びその他に係る各取組の実施状況を点検したところ、別紙のとおり、環境負荷の低減に寄与する具体的かつ効率的な取組に努めていると認められた。

イ 今後の取組

今後、新たな施設の増加や運用方法の変更等の要因で燃料等の使用量が増大する可能性があるものの、環境へ及ぼす影響を低減するための実効ある各取組をより一層積極的・計画的に推進し、地球温暖化対策の推進に係る政府が定めた計画、防衛省の実施計画及び、防衛省における環境への取組に基づき、引き続き、温室効果ガス削減に向けた取組が推進されるよう努める必要がある。

以 上

平成30年度における防衛省環境配慮の方針の点検結果

環境配慮の方針			平成30年度の実施状況の概要
環境 施策 の推 進	環境 負荷 の低 減	地球環境保全	防衛省実施計画（温室効果ガス総排出量）の目標10%減に対し 年度実績7.0%減（2013年度比）
		生物多様性保全	鳥獣保護区等への隊員の立入状況管理、教育指導の実施
		循環型社会構築	防衛省実施計画（廃棄物の量）の目標10%減に対し年度実績6 4.5%減（2013年度比）
		大気環境保全	騒音の発生源となる発動発電機等に防震装置や消音装置の取付、 近隣住民へ影響の少ない場所への設置
		水環境保全	事務所の単位面積当たりの上水使用量、年度実績21.7%増 （2013年度比）
			排水設備の点検及び適正な管理を実施、基準値等を超えた場合は 必要な対策を実施
		土壌環境保全	射撃場における鉛汚染対策及び排水の状況確認
		化学物質対策	有害化学物質の環境への排出量及び移動量の把握及び管理
		その他	地域社会と連携した環境美化運動への参加
	環境 教育 の推 進	環境教育の推進	環境月間及び環境週間において、節電、エコドライブ及びワンウェ イのプラスチックの削減等リデュース、リユース、リサイクルにか かわる行事等を実施し意識の高揚を図った

環境配慮の方針			平成30年度の実施状況の概要
事務活動における環境配慮	物品等の購入及び使用に当たっての取組	グリーン調達の実進	グリーン購入法に基づく特定調達品目の購入
			防衛省実施計画（公用車に占める次世代自動車の割合）の目標40%に対し年度実績7.5%
		公用車の効率的利用の促進	防衛省実施計画（公用車の燃料使用量）の目標15%減に対し年度実績0.3%増（2013年度比）
		用紙類の使用量削減の促進	防衛省実施計画（用紙の使用量）の目標10%減に対し年度実績31.5%減（2013年度比）
		事務用品のリサイクルの促進	ゴミ分別の周知・徹底、分別回収ボックスの設置
	庁舎の管理における取組		防衛省実施計画（事務所における単位面積当たり電気使用量）の目標10%減に対し年度実績0.4%減（2013年度比）
		屋上等緑化に促進	建物周辺・道路沿い等の既設植栽帯に補植を実施